

VG 槻輪

まえがき

元茨木川緑地は、安威川との合流に伴い廃川となった旧茨木川の流路が、公園として整備されたものです。

江戸時代より茨木川は川幅が狭く天井川であり、たびたび氾濫を起こしていたそうです。

1973年（昭和49年）公園整備が北側から順に開始され、1989年（平成元年）3月31日元茨木川緑地整備計画（施工面積13.12ha）が完了しました。

全長は南北5km以上にも及び、グリーンベルトを形成しています。

茨木市の市街地中央を貫き、道路が併設されています。この道路には中央公園より北側を「川端通り」、南側を「桜通り」と愛称がつけられています。

園路が南北に整備され、ハイキングコースとなっており、各所に遊具や花壇、水景施設が設置されています。

桜の名所としても知られ、ソメイヨシノ以外の品種も多く植えられています。サクラの他にも、クスノキやケヤキ、カシ、ハナミズキなど約40樹種70000本が植栽されている。大阪みどりの百選に選ばれています。

高槻市富田からは、阪急富田駅を乗車し、健脚組は、南茨木駅から、高齢者は茨木市駅から、富田まで健康ウォーキングするのに適したルートです。

このような事から、今回は、高齢者向けの「川端通りの散策・ウォーキング」ガイドブックを作り紅葉の11月に実施しました。

車が通らない元茨木川緑地（モトイバ）は、ウォーキングやランニングにぴったりです。緑に包まれながら、安心して気持ちよく楽しめます。進むにつれ景色も遊歩道の雰囲気も変わっていくので飽きません。

全長約5kmという長さは歩数にすると片道約7000~8000歩で、歩くと1時間前後くらいです。ランニングの初心者がまず目指したいのも5km完走だそうです。

四季を通じて楽しめるコースです。

